

令和6年度「学校教育活動アンケート」(学校評価)の結果について(報告)

12月に実施した「学校教育活動アンケート」の集計結果及びその分析は以下のとおりです。

<集計結果について>

- ・児童アンケートは、1～6年生児童の回答を集計の対象としています。ただし、4「少人数などの授業は分かりやすい」の項目については、5・6年生のみ回答しました。
- ・アンケート項目の2・10については、令和6年度のアンケートより新しく質問項目を設定しました。
- ・保護者アンケートは、Web上で実施し、150名の方から回答を得ることができました。ご協力いただき、ありがとうございました。
- ・ポイントは、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」を選んだ人数を全体の人数で割ったものです。

[全体について]

児童・保護者ともに、昨年度より評価点がアップした項目が多くなっています。

児童の回答では、「学校の授業がわかりやすい」と「先生方は、真剣に話を聞いてくれ、自分の思いをよく受け止めてくれる」が7ポイント以上上昇しました。逆に、今年度から新しく設けた「学校や家で、進んで読書をしている」の項目は、65.4ポイントと評価が低いことが分かりました。学習の分かりやすさといった部分で、評価が上がっていることから、これまで学習指導や学習意欲の向上について、学校として改善してきたことが成果となって表れつつあることが分かります。

保護者の方では、昨年度と比較して7項目で評価点が高くなっています。「お子さんは、家庭や地域でも時と場に応じた挨拶ができる。」は、年々少しずつポイントが上昇しています。ご家庭や地域の中で、子どもたちに挨拶をしてくださっている積み重ねが、現在の姿に結びついていると考えられます。

今年度の評価を謙虚に受け止め、さらに一人一人に対するきめ細かな指導や見届け、児童の自己肯定感や自己有用感を育む指導を充実させ、改善を図っていきたいと考えています。また、来年度は一人でも多くの保護者の皆様に回答していただけるよう、アンケートの取り方についても、工夫や改善を行っていききたいと思います。

【成果】

1[授業が分かりやすいについての項目]

・児童の評価点は91.8点、保護者は89.2点と、ともに昨年度より高い得点となっています。下米田小学校では、今年度から特に算数の授業において、今日学んだことが身に付いたか一人一人の児童の見届けの時間を大切にしてきました。45分の授業の中で、確実に身に付けさせたいことをはっきりさせて、授業を行うようにしています。

また、今年度より保護者や地域の皆様による「よなだっ子サポーター」の取組も始まりました。家庭科や図画工作科、九九のテストなど学習ボランティアの皆様のお力をお借りして、児童が待つ時間を減らし、困ったときにすぐに助けを求めることができる環境ができつつあります。来年度も、「よなだっ子サポーター」を募集します。保護者の皆様、地域の皆様のご協力をお願いします。

今後も、全ての児童がよく分かる授業づくりに向けて、教職員は研修を重ね、工夫・改善を図っていきます。

10[安心・安全についての項目]

・学校では、火災・地震・大雨による浸水・不審者が校内に侵入したことを想定して、避難訓練を行っています。通学の途中で被災したときは、学校と自宅の近い方へ行くよう通学班単位で具体的に話しています。災害は、いつやってくるか分かりません。児童自身が、落ちてこない・動いてこない・安全な場所を判断して避難できるよう繰り返し指導していきます。

また、一番遠い児童で約1時間の道のりを歩いて登校しています。落雷の際は、1時間後を想定して保護者の方にお迎えをお願いする場合があります。どうかご理解の上、ご協力をお願いいたします。

【課題】

2[読書に親しんでいるかについての項目]

・児童の評価点は65.4点、保護者は45.3点でした。学校では、月曜日から金曜日までの朝活動で、学校に来た児童から学習の準備を済ませ、自分の席に座って読書をする習慣作りに取り組んでいます。最近では、低学年の児童も静かに読書をする姿が見られるようになりました。また、学級ごとに図書室へ行き、どの子どもが本を借りる機会を多くとるようにしています。

図書委員会の児童やブルーミングさんが読み聞かせを行い、読書が好きになった児童もいます。しかし、読書を「よいものだ」と捉え、読書に進んで取り組んでいる児童は、半数であることが分かりました。今後も読書の楽しさやよさを伝える活動を増やしていきたいと考えています。

6[学校へ行くのが楽しみかを問う項目]

・児童の評価点は80.9点、保護者は84.6点となりました。学校で友だちと遊ぶことが楽しみであると捉えている児童が多いと考えられます。令和5年・6年度と「仲間づくり講座(構成的グループエンカウンター)」で学んだ内容を実践しており、これまでに気付かなかった互いのよさを自覚したり、仲間と関わるよさや楽しさを体感したりする取組を行ってきました。令和7年度についても引き続き行い、どの児童も仲間と関わるよさや楽しさをさらに感じるができるように、最大限の努力をしていきます。

この学校評価を学校運営協議会でも話題にし、ご意見をいただきました。
 学校運営協議会でいただいた意見は、次の通りです。

・学校評価からは、よい印象を受けている。評価を支えている大きな点として、保護者や地域の皆さんによる「よなだっ子ボランティア」の学習支援があったと考えられる。ボランティアの方と児童が休み時間に話ができていることも、よい効果につながると思う。

・図書館の本の冊数が規定数に足りているのか心配だった。子どもにとって新しい本は魅力的である。予算的に難しい面もあるが、新しい本を増やして欲しい。そして、読書の好きな子を増やして欲しい。

・子どもが明るくて元気だった。6年生の教室で大きな声で「あいさつ」をしてくれた。2年生の子も顔を見て笑顔で授業を受けていた。顔を覚えていてくれて、うれしかった。



令和6年度 児童評価点

	評価項目	評価点
確かな学力	1 学校の授業が分かりやすい。	91.8
	2 学校や家で、進んで読書をしている。	65.4
	3 毎日、家庭学習(宿題や自主学習)を行っている。	90.4
	4 少人数などの授業は分かりやすい。(5・6年対象)	95.9
一人一人を大事にする	5 教室や廊下の掲示物などがきれいに整った美しい学校だと思う。	93.2
	6 学校へ行くのが楽しみである。	80.9
	7 自分の学級は、居心地のよい学級だと思う。	88.2
	8 先生方は、頑張ったりよいところは認めてくださったり、よくないことはきちんと注意してくださる。	97.1
	9 先生は、真剣に話を聞いてくれ、自分の思いをよく受け止めてくれる。	96.3
	10 地震や不審者が来た時など、自分はどのようにして自分の身を守るか分かる。	97.7
地域ぐるみ	11 学校だけでなく、家でも地域でも元気なあいさつをしている。	90.1
	12 学校のたよりや通信をしっかりと見て、家の人にも必ず渡している。	94.1

令和6年度 保護者評価点

	評価項目	評価点
確かな学力	1 お子さんは、学校の授業が分かりやすいと言っている。	89.2
	2 お子さんは、学校や家で読書に親しんでいる。	45.3
	3 学校は、学習習慣を身に付けさせるための家庭学習(宿題)などの適切な指導を行っている。	84.4
	4 学校は、少人数指導など一人一人に確かな学力を身に付けさせるきめ細かな指導に心掛けている。	74.6
一人一人を大事にする	5 学校は、教室や廊下の美化や掲示など、美しく整った環境になっている。	95.3
	6 お子さんは、学校へ行くのを毎日楽しみにしている。	84.6
	7 学校は、どの子にとっても居心地のよい学級づくりに努力をしている。	88.5
	8 学校は、子どものよい行動は認め、よくない行動は注意するなど生活の指導をしっかりと行っている。	91.9
	9 学校は、子どもの努力や能力を適切・公平に評価している。	93.9
	10 学校は、大雨の際の引き渡し訓練や地震・不審者を想定しての避難訓練を行っており、安全な学校になるよう努力している。	99.3
地域ぐるみ	11 お子さんは、家庭や地域でも時と場に応じたあいさつができる。	84.6
	12 学校は学校便り、学年だよりなどで伝えたり、電話や連絡帳で連絡するなど、家庭との連携ができている。	95.3